



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年8月8日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <http://impressholdings.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)唐島 夏生
 問合せ先責任者 (役職名)取締役/執行役員CFO (氏名)山手 章弘 TEL:03-6837-5000 (代)
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	2,679	8.6	42	—	47	730.8	263	—
2018年3月期第1四半期	2,467	4.8	△25	—	5	—	△2	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 38百万円(△23.6%) 2018年3月期第1四半期 50百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	7.89	—
2018年3月期第1四半期	△0.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	12,219	7,611	62.2	227.90
2018年3月期	12,788	7,670	59.8	229.25

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 7,602百万円 2018年3月期 7,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	2.50	2.50
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	6,000	3.8	130	△41.4	300	73.3	8.99	
通期	12,150	2.1	200	16.3	350	△19.9	10.49	

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	37,371,500株	2018年3月期	37,371,500株
2019年3月期1Q	4,012,406株	2018年3月期	4,011,986株
2019年3月期1Q	33,359,395株	2018年3月期1Q	33,363,610株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、事業セグメント区分の変更及び主要な関係会社の異動はありませんが、事業区分を変更しております。

当社は、有価証券の取引等の規制に関する内閣府令第49条第2項に規定する特定上場会社等に該当し、インサイダー取引規制の重要事実の軽微基準については連結ベースの数値に基づいて判断することとなります。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD 英普麗斯(北京)科技有限公司 Impress Group Singapore Pte. Ltd.
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、出版流通プラットフォームの開発・運営等	㈱近代科学社 ㈱インプレスR&D ㈱クリエイターズギルド ㈱天夢人 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理、販売/物流管理	㈱インプレスホールディングス(当社) ㈱Impress Professional Works

(当第1四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

なお、事業セグメント区分の変更はありませんが、当第1四半期連結会計期間において事業区分を変更し、前第1四半期連結累計期間については組替えを行っております。

当第1四半期連結累計期間につきましては、アジア市場向けSP（セールスプロモーション）の受託案件の減少や雑誌事業の減収等があったものの、既刊書籍や電子出版の販売増、デジタル広告を中心としたネットメディアの好調に加え、当第1四半期連結会計期間におきまして連結の範囲に含めました(株)天夢人による売上高の増加等により、コンテンツ事業は増収となりました。プラットフォーム事業につきましては、著書向けPOD（プリントオンデマンド）出版サービスの登録者数の拡大や楽器マーケットプレイス「デジマート」における楽器店からの決済サービス収入等の増加等により、増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（2,467百万円）に比べ211百万円増加し、2,679百万円となりました。営業利益につきましては、人件費や地代家賃等の販売管理費の増加はあったものの増収により、前年同期（25百万円の損失）に比べ67百万円増加し、42百万円となりました。経常利益につきましては、前年同期（5百万円）に比べ41百万円増加し、47百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、保有する投資有価証券の売却による投資有価証券売却益の計上等により、前年同期（2百万円の損失）に比べ265百万円増加し、263百万円となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントにつきましては、アジア市場向けを中心に受託案件の減少はあったものの、書籍及び電子出版等の販売増に加え、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<http://www.watch.impress.co.jp/>）等の広告収入の増加やターゲットメディアと連携したビジネスセミナー等の好調な推移により、コンテンツ事業は増収となりました。

また、パートナー出版社へ出版・電子出版の販売プラットフォームの提供を行うプラットフォーム事業についても、前年同期と同水準の売上を維持しております。

以上により、「IT」の売上高は、コンテンツ事業等の増収により、前年同期（969百万円）比9.5%増の1,062百万円となりました。セグメント利益は、増収と収益性の改善により、前年同期（51百万円の損失）と比べ64百万円増加し、13百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントにつきましては、アーティスト関連の受託売上の増加や、ガールズバンドプロジェクト「バンドリ」とのコラボ企画におけるフェア開催等により既刊書籍の販売が好調に推移し、当第1四半期連結会計期間において一部の書籍レーベルを「その他」セグメントへ事業移管した影響や雑誌事業の減収を補い、コンテンツ事業は増収となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<http://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入等の増加で増収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（425百万円）比6.8%増の453百万円となりました。セグメント利益では、増収と事業移管による人件費や広告宣伝費等の減少により、前年同期（24百万円の損失）と比べ30百万円増加し、5百万円となりました。

③ デザイン

デザインセグメントにつきましては、刊行点数の増加と堅調な出荷により新刊書籍及び電子出版は増収となったものの、ヒット作のあった前期と比べ既刊書籍の販売が減少し、コンテンツ事業は減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（205百万円）比6.9%減の191百万円となりました。セグメント利益では、減収と収益性の低下により、前年同期（40百万円）と比べ17百万円減少し、22百万円となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントにつきましては、雑誌事業及び自治体等の国内受託案件の減少による減収を、刊行点数の増加による新刊書籍の販売増加等により補い、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（378百万円）比1.9%増の386百万円となりました。セグメント利益では、収益性の低下により、前年同期（43百万円）と比べ13百万円減少し、29百万円となりました。

⑤ モバイルサービス

モバイルサービスセグメントにつきましては、英語教材の販売やデジタルファーストの電子書籍等の自社メディア事業の拡大により、コンテンツ事業は増収となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業によるデジタルコミック等の販売プラットフォーム事業は堅調な推移となったものの、開発受託案件の延期により、減収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、プラットフォーム事業の減収をコンテンツ事業の増収で補い、前年同期（367百万円）比4.9%増の385百万円となりました。セグメント利益では、人材強化に伴う人件費を中心に販売管理費が増加したものの増収でほぼ補い、前年同期（46百万円）と比べ2百万円減少し、44百万円となりました。

⑥ その他

その他セグメントにつきましては、著書向けPOD出版サービスの登録者数の拡大や堅調なwebコンテンツ等の制作受託、理工系専門書等の高単価書籍の出荷増に加え、当第1四半期連結会計期間において音楽セグメントからImpress Business Development(同)へ事業移管した書籍レーベル「立東舎」や新たに連結の範囲に含めました(株)天夢人による売上高の増加等により、売上高は前年同期（146百万円）比71.9%増の251百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの投資フェーズの事業が増加したことで収益性が低下し、前年同期（0百万円）と比べ11百万円減少し、11百万円の損失となりました。

⑦ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社と、グループの経営管理及び販売／物流管理機能を担う(株)Impress Professional Worksで構成されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の減少等により、前年同期（396百万円）比6.5%減の371百万円となりました。セグメント利益では、減収により、前年同期（44百万円）と比べ22百万円減少し、22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、投資有価証券の売却や受取手形及び売掛金の回収が進んだものの仕入債務等の支払により現金及び預金の増加が限定的であったことや保有する投資有価証券の売却による減少等により、前連結会計年度末に比べ568百万円減少し12,219百万円となりました。負債につきましては、仕入債務等の支払や、季節要因による賞与引当金の減少等により、509百万円減少し4,607百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上がありましたが、保有する投資有価証券の売却による評価額の減少等によりその他有価証券評価差額金が減少したため、59百万円減少し7,611百万円となりました。

純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は7,602百万円となり、自己資本比率は62.2%と前連結会計年度末(59.8%)と比べ2.4ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績動向につきましては、コンテンツ事業において出版の刊行遅れ等があったものの、ネットメディアのデジタル広告及びプラットフォーム事業が堅調に推移し、想定を若干上回る業績動向となっております。

第2四半期連結会計期間につきましては、出版は刊行遅れを取戻す動きを想定しておりますが、ソリューション事業における受注状況に不透明感があること、ネットメディアのデジタル広告に不確実性が伴うこと等を勘案し、公表済みの業績予想に変更はありません。

なお、当第1四半期連結累計期間に発生した投資有価証券売却益につきましては、2018年5月10日公表の「2019年3月期連結業績予想」に織り込み済みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,402,747	5,078,166
受取手形及び売掛金	4,127,313	3,107,616
有価証券	400,000	400,000
商品及び製品	1,076,852	1,247,942
仕掛品	124,641	127,869
その他	314,004	285,428
返品債権特別勘定	△11,300	△18,300
貸倒引当金	△48,798	△42,388
流動資産合計	10,385,460	10,186,335
固定資産		
有形固定資産	426,861	419,702
無形固定資産		
ソフトウェア	196,034	187,852
その他	14,445	14,445
無形固定資産合計	210,479	202,297
投資その他の資産		
投資有価証券	1,087,015	730,394
破産更生債権等	110,237	110,237
繰延税金資産	194,905	194,905
その他	466,733	469,167
貸倒引当金	△93,579	△93,579
投資その他の資産合計	1,765,312	1,411,124
固定資産合計	2,402,652	2,033,124
資産合計	12,788,113	12,219,459
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,350,727	1,177,014
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	201,188	190,316
未払法人税等	89,522	57,020
賞与引当金	161,624	33,771
返品調整引当金	152,758	123,601
その他	1,103,107	1,089,811
流動負債合計	3,558,928	3,171,536
固定負債		
長期借入金	168,800	136,952
退職給付に係る負債	1,099,793	1,108,396
長期末払金	101,120	104,004
繰延税金負債	185,794	84,434
その他	2,802	2,632
固定負債合計	1,558,311	1,436,418
負債合計	5,117,240	4,607,954

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,664,508	1,664,563
利益剰余金	1,012,177	1,191,960
自己株式	△723,297	△723,380
株主資本合計	7,294,409	7,474,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420,852	191,184
為替換算調整勘定	55,108	52,154
退職給付に係る調整累計額	△122,633	△114,951
その他の包括利益累計額合計	353,327	128,388
新株予約権	14,704	—
非支配株主持分	8,431	8,951
純資産合計	7,670,873	7,611,505
負債純資産合計	12,788,113	12,219,459

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
売上高	2,467,842	2,679,518
売上原価	1,503,922	1,613,016
売上総利益	963,919	1,066,502
返品調整引当金戻入額	40,574	31,598
差引売上総利益	1,004,493	1,098,100
販売費及び一般管理費	1,030,030	1,055,780
営業利益又は営業損失(△)	△25,536	42,320
営業外収益		
受取利息	744	181
受取配当金	439	467
貸倒引当金戻入額	19,660	—
持分法による投資利益	10,185	7,897
その他	6,156	3,245
営業外収益合計	37,187	11,792
営業外費用		
支払利息	2,006	1,533
為替差損	563	397
出資金運用損	2,090	2,747
その他	1,253	1,779
営業外費用合計	5,914	6,459
経常利益	5,736	47,653
特別利益		
投資有価証券売却益	6,496	254,199
新株予約権戻入益	—	14,704
特別利益合計	6,496	268,904
税金等調整前四半期純利益	12,232	316,557
法人税、住民税及び事業税	13,226	53,064
法人税等調整額	—	△209
法人税等合計	13,226	52,855
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△993	263,702
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,030	520
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,024	263,181

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△993	263,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,186	△229,667
為替換算調整勘定	△1,635	△2,953
退職給付に係る調整額	37,200	7,681
その他の包括利益合計	51,752	△224,939
四半期包括利益	50,758	38,762
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,727	38,242
非支配株主に係る四半期包括利益	1,030	520

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	969,982	425,062	205,166	378,991	367,601	2,346,804	146,494	△25,456	2,467,842
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	△51,439	△24,981	40,013	43,541	46,533	53,667	221	△79,426	△25,536

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益又はセグメント損失の調整額△79,426千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△25,456千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△347,658千円、セグメント間の営業費用の取引消去293,688千円が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイル サービス	計			
売上高	1,062,481	453,784	191,034	386,007	385,568	2,478,875	251,801	△51,158	2,679,518
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	13,085	5,408	22,185	29,919	44,405	115,003	△11,452	△61,230	42,320

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、Webサイト等の受託制作及び出版流通プラットフォームの開発・運営等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
- セグメント利益又はセグメント損失の調整額△61,230千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△51,158千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△343,871千円、セグメント間の営業費用の取引消去333,799千円が含まれております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。